

涌谷町
観光ガイド



涌谷を 遊び訪ねる

歴史も自然も食も
楽しみ満載



わが国最初の産金地

伊達騒動ゆかりの城下町



JAPAN HERITAGE
日本遺産

宮城県涌谷町



大崎耕土
世界農業遺産
OSAKI
KODO
GLOBALLY IMPORTANT
AGRICULTURAL
HERITAGE SYSTEMS

百濟王

くだらのこにきし

敬福

(698~766)

涌谷町
縁のある
人物



百濟王敬福は、聖武天皇発願の大仏建立にあたり天平二十一年(七四九)年に、陸奥国小田郡から産出の黄金九百兩を献じました。聖武天皇は光明皇后、皇太子(阿倍内親王、後の孝謙天皇)以下を伴い、建立中であつた大仏にこのことを報告しました。年号も天平から天平感宝と改めるなど、国家的な慶事として大々的に祝いました。



「黄金九百兩の里へ」

ようこそ！

ぶらり旅・涌谷の散策路

「何？黄金九百兩って！」

小判でも見つかったの……？」

いやいや、そうではありません。

奈良時代の天平年間。

ここ涌谷で黄金を産出。

その黄金九百兩(約十三kg)は、

東大寺の大仏建立で

大量の黄金を必要としていた

平城京に持ち込まれました。

涌谷町は『日本初の産金聖地』として

歴史に名を刻んだのです。

こうした史実に触れると、

奈良時代のロマンに出会えるようで

『ワクワク・ドキドキ』してきませんか……。

涌谷町はまた、仙台藩一門

「涌谷伊達家」の城下町として

懐の深い歴史を有しています。

ひと時、日常からの喧騒を離れ、

涌谷の文化や食を楽しむのもいいものです。

涌谷での散策は、新たな発見を

届けてくれるかもしれません。

さあ、ぶらり涌谷へお出かけください！



伊達

安芸宗重

(1615~1671)

涌谷町
縁のある
人物

涌谷伊達家四代安芸宗重は、新田開発や城下町の建設に力を尽くした名君です。寛文十一年(一六七二)仙台藩政の現状を憂い、一門の重鎮として藩を安泰させたいと願い幕府に訴え出ました。しかし、評定の場で非業の最期を遂げました。これが寛文事件(伊達騒動)です。安芸の死は世の人々から「武と、いい、忠と、いい、無双の侍」と深く惜しまれました。

日本遺産
構成文化財

特集 【ぶらり歴史ロマン・1】
天平の産金地 陸奥国小田郡黄金山
陸奥国、始めて黄金を貢る…… 2

日本遺産
構成文化財

特集 蘇れ！黄金九百兩
天平ろまん館…… 4

日本遺産
構成文化財

特集 四季折々の感動との出会い
涌谷町イベント案内…… 6

日本遺産
構成文化財

特集 飲食店・宿泊施設案内
涌谷町観光マップ…… 8

日本遺産
構成文化財

特集 【ぶらり歴史ロマン・2】
奥州鎮護の名刹
篁峯寺(奥州三十三観音霊峰篁岳山)…… 12

日本遺産
構成文化財

特集 【ぶらり歴史ロマン・3】
伊達騒動ゆかりの地
涌谷要害と伊達安芸宗重…… 14

日本遺産
構成文化財

特集 【ぶらり歴史ロマン・4】
小田郡内現遠田郡の東半分)の古代墓
追戸・中野横穴墓群…… 16

日本遺産
構成文化財

特集 【ぶらり歴史ロマン・5】
豊かな大地に根ざした縄文の「ムラ」
国史跡・長根貝塚…… 17

日本遺産
構成文化財

特集 体がポカポカすると心もあたたまる
わくや天平の湯…… 18

日本遺産
構成文化財

特集 涌谷町の特産品
涌谷からの「おもてなし」…… 19

日本遺産構成文化財

天平の産金地 陸奥国小田郡黄金山

陸奥国、始めて黄金を貢る



■最北限の万葉歌碑
揮毫は山田孝雄博士

黄金山の産金

天平二十一年(七四九)の春、奈良東大寺の大仏鑄造は完成に近づいていました。しかし銅造の仏体を鍍金する肝心の金が足らず聖武天皇をはじめ関係者の憂慮が深かったのです。このよ
うな時、陸奥国守百済王敬福が小田郡(現遠田郡東部)の黄金山(現遠田郡浦谷町の黄金山神社

一帯の山)から産出した黄金を献上しました。
このことは、国内で最初の産金事件として祝福され、天皇は宣命を発し、年号を「天平感宝」と改め、大赦や税の免除、叙位などを矢つぎ早に行いました。

延喜式内 黄金山神社

黄金山の産金を今日に伝えて
いる神社です。この神社名は一〇世紀初めの『延喜式』に「小田郡一座」の官社として載るのが最初ですが、天平の産金当時に存在しており、産金の功労者として、「金を出せる山」の神を祀る神主も叙位されました。
境内には、天平の仏堂跡をはじめ、今日なお砂金の採れる沢、万葉歌碑、日本黄金始出地碑等があり、国史跡「黄金山産金遺跡」の中心地となっています。

万葉歌碑

天平産金の興奮は越中国(富山県)にも伝わり、越中守大伴家持は「陸奥国より金を出せる詔書を賀く歌」を詠み、長歌一首と反歌三首を『万葉集』にのこしています。
歌碑は反歌の一首であるところの
天皇の御代采えむと東なる
陸奥山に金花咲く
を万葉假名で刻したものです。



コラム

天平の仏堂

黄金山神社の本殿後方から玉垣の位置に産金を仏に感謝した仏堂が建てられました。屋根瓦に「天平…」と年号を書いたものがあります。仏堂の礎石は神社拝殿の土台石として転用されています。
【天平ろまん館に展示】



瓦製の宝珠
(天平のへら書があります)



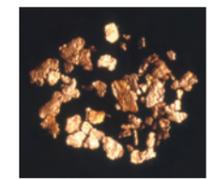
文様瓦のセット
上 重弁蓮花文軒丸瓦 / 下 扁行唐草文軒平瓦
(デザインは陸奥国分寺と同じです。天平の仏堂も官寺のつづかいていた。)

ゴールドラッシュ

大仏様の鍍金には約六〇kgの金が必要で、百済王敬福が献上した最初の金の九百両(約十三kg)は1/4弱にすぎません。
そこで政府は、天平勝宝四年(七五二)春、陸奥国多賀郡から北の諸郡の成年男子に黄金を納めさせることにして金の調達をはかりました。これにより、現在の宮城・岩手にまたがる「みちのく」では、砂金を洗い取るゴールドラッシュが巻き起ります。そして、それはやがて中尊寺金色堂の建立という形であらわれてくるのです。

黄金山の金

古代の金
は砂金です。
黄金山の砂金は北上山地を供給源として堆積した含金礫層が大洪水などで長年の間に洗い出されたもので、金の純度が極めて高いのです。
天平ろまん館の展示物「浦谷町の黄金マップ」は、砂金の採れる二十五カ所を印しています。町内の地名にも砂金採取の由来を伝える黄金迫・黄金沢・黄金橋・金流水などがあります。



韓国との交流 今も

六六〇年に百済が滅亡した際に、同盟国だった日本に多くの人が渡来しました。その中には様々な技術者がいて、砂金採取の方法を伝えました。それを裏付けるように、産金功労者には渡来人がふくまれていました。こうしたゆかりから、遺跡に隣接する『天平ろまん館』では、百済の都扶餘で出土した香炉や百済王の礼服を復元して展示するなど日韓友好に力とめるとともに、平成二十五年三月に扶余郡林川面と友好都市協定を締結するなど、韓国との交流事業を進めています。

日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」

浦谷町の日本初の産金からはじまる「みちのくの金」にまつわるストーリーが日本遺産に認定されています。
みちのくの金の象徴である「中尊寺金色堂」(平泉町)と奥州藤原氏と関わりの深い産金地にある田東山経塚群(南三陸町・気仙沼市)。江戸時代、伊達を支えた玉山金山(陸前高田市)と現世利益をもたらす霊地となつた金華山詣(石巻市)。明治以降、モンスタールゴールドを採掘した鹿折金山と近代鉱山化した大谷鉱山(気仙沼市)。
浦谷町を基点に各地をストーリーで巡ることができます。

「日本遺産とは」
日本各地には、それぞれの地域の歴史や風土に根差した、豊かで魅力あふれる建物や美術品、お祭りや行事、昔の人びとの生活を語る遺跡や遺物など、守り・伝え・残されてきた文化財があります。それらの文化財を通して地域の歴史的魅力や特色を示す風習や文化としてまとめたストーリーを、文化庁が認定する仕組みです。

各地域の日産産をもっと詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。
日本語▶ <https://japan-heritage.bunka.go.jp/>
英語▶ <https://www.tohoku-golden-route.com/>
タイ▶ <https://th.tohoku-golden-route.com/>
簡体字▶ <https://zh.tohoku-golden-route.com/>
繁体字▶ <https://tw.tohoku-golden-route.com/>




■百済王敬福(イメージ像) 698 ~ 766
くだらのこにききょうふく
百済国王の子孫で、八世紀中頃の官人として活躍しました。東北経営でも長年にわたって活躍しましたが、なかでも令名を馳せたのが陸奥国守在任中の天平21年春、小田郡黄金山から産出した黄金を大仏鍍金用として献上したことでした。これにより従三位を授けられました。
【天平ろまん館に展示】



■金銅龍鳳蓬萊山香炉(複製) こんどうりゅうほうほうはいざんこうろ
百済6世紀。金銅製。高さ64cm 1993年韓国扶餘陵山里(ふよゆんざんり)で出土しました。扶餘は6〜7世紀百済最後の都のあった場所です。香炉は蓮の花、龍、鳳凰などの図像で精緻に装飾され、百済芸術の逸品です。
【天平ろまん館に展示】



■百済人望郷の碑 くだらじんぼうきょうのひ
2004年在日韓国人の民団と同町が協力し日韓友好と望郷のあかしとして、天平ろまん館前に建立しました。

■砂金採りの道具 さきんりのどうぐ
箕島山の沢で砂金採りが行われてきたことを表すものです。



みちのく
GOLD
浪ろまん漫
黄金の国ジパング。
産金はじまりの地をたどる

蘇れ！黄金九百両

天平ろまん館

天平二十一年(七四九)、陸奥国守の百済王敬福は小田郡より黄金が産出したことを報告、九百両(約十三kg)の金を献上しました。
聖武天皇は、これを国始まって以来はじめての産金と大いに慶び、国家事業であった東大寺大仏の建立を完成へと導きました。
天平ろまん館では、日本古代史上に特筆されるこの「天平産金の地」を、今に甦らせています。



■くがね庵
床の間に金箔をあしらった茶室で、庭の「水琴窟」が風雅な水音を聞かせてくれます。くがね庵では気軽に抹茶が味わえるほか、茶会などにも利用できます。



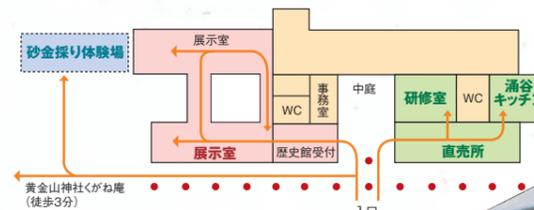
■歌われた産金地
大伴家持が「万葉集」に残した産金を祝う歌と、みちのくにゆかりの万葉の歌を紹介しています。



■天然金塊(ロシア産816g)

天平ろまん館 施設案内

館内には「天平産金」をテーマにした歴史館、砂金採り体験場、直売所、多目的に使える研修室などがあり、公園内には気軽に抹茶が味わえる茶会などにも利用できる茶屋「くがね庵」があります。



■寛文の鐘(指定有形文化財(工芸品))
伊達騒動で原田甲斐の凶刃に倒れた、伊達安芸宗重公の供養の意味も含め、5代を継いだ宗元公が寛文11年(1671)に奉納した鐘。観音堂の裏側にあり、大晦日、NHKの除夜の鐘として何度も放映されています。



■令和の鐘(新たな梵鐘)
令和2年に寺開山1250年と宗重公350年遠忌が重なる適期として新たな梵鐘が铸造され架け替えられました。



■天台宗 籠峯寺 こんぼうじ

MAP P10 55

住 宮城県遠田郡涌谷町籠岳宇神楽岡1
☎ 0229-45-2251

歴史ロマンコース

● JR 涌谷駅 — 車で20分(約7km) — 籠峯寺



■仁王像
天保14年(1843)作。日本でもめずらしい柔和な尊容で「ほほえみ仁王」と呼ばれています。



すばらしい景観、籠岳山(標高三三六m)

籠峯寺(籠岳観音)のある籠岳山頂上からは晴天の時は北西に栗駒山、鬼首連峰、北は登米平野、旧迫川と迫川、東には北上川がゆったりと流れ、東南には石巻港や牡鹿半島が望めます。西は大崎穀倉地帯がひらけ、葉山、船形山をはじめ奥羽山脈も遠望できるすばらしい眺望のなか、樹齢九〇〇有余年の親子杉があります。(夫婦、太郎杉、次郎杉、三郎杉、四郎杉)



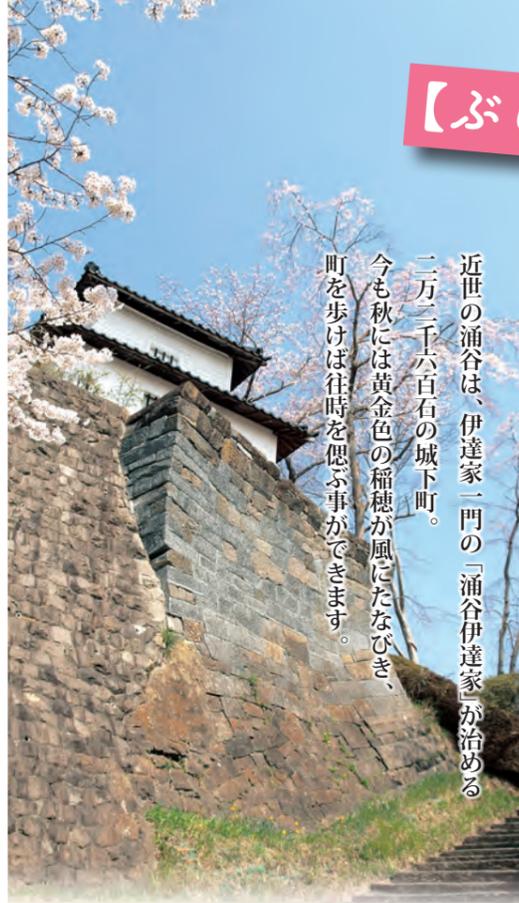
■かたくりの群生
4月上旬から中旬にかけてかたくりの花が楽しめます。

月初月中旬が一面に咲く。白山堂の前にはどうだんつじの紅葉(十一月頃)が見頃となります。また、初夏、初秋の朝には雲海を目にすることができます。



涌谷要害と伊達安芸宗重

近世の涌谷は、伊達家一門の「涌谷伊達家」が治める。二万二千六百石の城下町。今も秋には黄金色の稲穂が風にたなびき、町を歩けば往時を偲ぶ事ができます。



■涌谷神社
涌谷伊達家四代伊達安芸宗重公を祭神として、大正9年(1920)に建てられました。境内には宗重公の胸像があります。



■太鼓堂
涌谷要害石垣の上に建つ二層櫓。天保4年(1833)の再建と伝えられ、仙台藩内に唯一遺る貴重な鼓樓建築として知られています。

涌谷城下のにぎわい

(嘉永七年・一八五四)

涌谷伊達家が拝領した知行地は、遠田郡三ヶ村、牡鹿郡一ヶ村、磐井郡一ヶ村の計三十三ヶ村におよびます。なかでも涌谷要害を中心とした十ヶ村は涌谷伊達家の家臣団で構成される村でした。城下には宿場町がつけられ、地域経済の拠点となりました。

涌谷要害(涌谷城跡)

天正十九年(一五九二)、伊達政宗の命に

より涌谷伊達家(巨理家)が入城し、涌谷伊達家の居館として整備されました。仙台藩では、重要な家臣の居館となった「城地の様な所」を「要害」と呼んだので、「涌谷要害」といいます。明治維新を迎えるまで、地域の中心として機能し、現在は町の公園として親しまれています。現在も要害正面の登城路脇に設けられた石垣・太鼓堂が往時を偲ばせています。



MAP P9.52

■史料館
町のシンボルとしてつくられた天守閣を模した形の史料館。涌谷伊達家に関する史料を中心に、原始～近代までの考古・歴史・民俗資料をテーマ展示しています。
料 金/一般/300円(250円)
高校生/100円(50円)
小中学生/100円(50円)
()内は20名以上の団体料金の場合
開館時間/4～11月9:00～16:00
休 館 日/毎週水曜日
涌谷町涌谷字下町3-2
☎0229-42-3327



嘉永7年1854年頃に描かれた絵巻

伊達安芸宗重と伊達騒動

涌谷伊達家四代の安芸宗重公の時、万治二年(一六五九)、涌谷伊達家の知行高は二万二千六百石となりました。天正十九年(一五九二)、涌谷伊達家がこの地へと移ってきた時は、八千八百五十石。わずか約七〇年弱で二倍以上、谷地の多かつたこの地を、現在に近づける豊麗な大地へと変えたのは、当時の人々のたゆまぬ努力に他なりません。

しかし、藩政は四代藩主となった幼若亀千代の後見役による政治によって足並みがそろわず、いざこざが続き、藩の行く末が危惧されるようになっていきました。宗重公は、領内に起きた谷地



■伊達安芸宗重公像
だてあきむねしげこうぞう
延宝4年(1676)に武州豊嶋郡の仏師、竹内右京が制作しました。衣冠束帯姿で座し、廟内には仙台藩主伊達綱村が書した「尽忠」の二字が掲額されています。

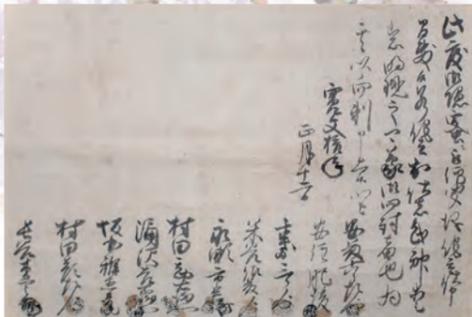
涌谷伊達家墓所(見龍寺)

涌谷伊達家の菩提寺・海雲山見龍寺境内には、第四代伊達安芸宗重公以下、歴代の涌谷伊達家の墓所があり、「見龍廟」と呼ばれ親しまれています。なかでも伊達安芸宗重公の霊屋「見龍院霊屋」は寛文十三年(一六七三)の竣工で、内部の厨子に宗重公の木座像を安置しており、宮城県的重要文化財に指定されています。

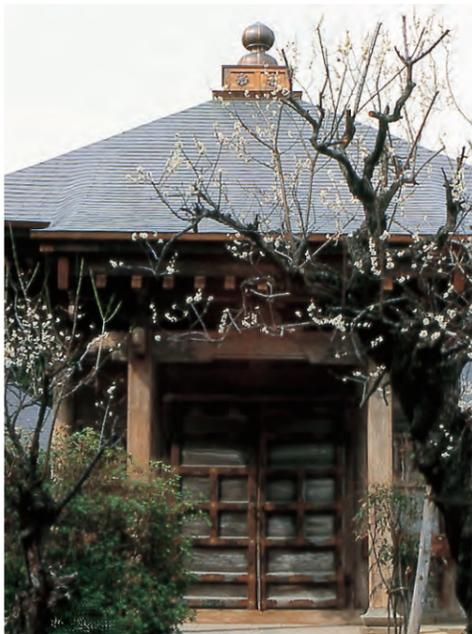


MAP P9.54

■妙見宮(神明社)拝殿
みょうけんぐう(しんめいしや) はいでん
県指定有形文化財(建造物)元禄10年(1697)創建で、当初は本殿として建築され、享和3年(1809)、現本殿が建築された際拝殿となりました。涌谷伊達家の氏神を祀り、杉木立に囲まれた境内には、凜とした雰囲気があります。毎年、秋の例大祭には町指定文化財の「古式獅子舞」が奉納されます。
涌谷町涌谷字日向町48
☎0229-42-2619(涌谷神社)



死を覚悟し幕府に訴え出る宗重公の決意を聞き、重臣10名も団結し宗重公についてゆくこととした血判誓紙。(涌谷町立史料館展示)



MAP P9.53

■見龍院霊屋
けんりゅういんおたまや
県指定有形文化財(建造物)
寛文13年(1673)上棟。二間四方、屋根宝形造。総樑。内部は平石を敷き詰めた土間形式で、壇上に宗重公木座像を納めた厨子を置く。墓所門前の石造五重塔、水盤・盥石とともに宮城県指定文化財。また廟の西隣には宗重夫人の「長蔵院霊屋」が立ち並び、周囲を歴代館主と夫人の霊屋・墓石が取り囲んでいます。
涌谷町涌谷字龍淵寺5番地
☎0229-43-3001(生涯学習課)

歴史ロマンコース

JR涌谷駅 — 車で5分(約1.5km) — 城山公園 — (約0.5km) — 妙見宮 — (約0.5km) — 見龍寺



【ぶらり歴史ロマン.4】

追戸・中野横穴墓群

横穴墓とは、凝灰岩や砂岩層の丘陵斜面に、横から穴を掘って墓室をつくり死者を埋葬した施設で、群集して存在しています。五世紀後半に九州北部で造り始められ、以後七世紀初頭までには北陸・東北南部まで拡がり、七世紀後半から八世紀にかけて爆発的に増加しました。古墳時代終末期の墓制形態の一つで、その構造は複数人の埋葬に適しています。

追戸・中野横穴墓群は、小塚の追戸・中野地区や洞ヶ崎地区、さらに上郡一区二箇地内などにあります。

追戸A地区横穴墓群(涌谷町指定史跡)

追戸A地区横穴墓群は、中野地区、標高六〇m付近の山林内には凝灰岩質の斜面に造られた二〇〇基前後の横穴墓が一〇〇の単位群に分かれて分布しています。

これが追戸・中野横穴墓群で、そのうちの七〇基が調査されています。追戸A地区の横穴墓は追戸・中野横穴墓群を代表する九基の墓群で昭和三十七年に調査され、現在は歴史公園として整備されています。

一号墳は全長が約二二m、二号墳は約一〇mでA地区内はもろんだ崎地方としても最大級の規模になります。両墓ともに奥の墓室(玄室)は、高さ約二m、切妻形の天井をもつ奥行・幅共に三mの堂々たるもので、コの字状に三棺座を配しています。



A地区 2号墓羨道壁面状況
羨道(入口から玄室に至る通路)の側壁には幅10cmのノミ痕が列柱状にのこり、一部に朱彩(ベンガラ)が見られます。



A地区 2号墳羨門状況

横穴墓の調査によって死者に供献された遺物が出ています。それらは埋葬された人々が身につけた玉類などの装身具や武器類・馬具類のほかに日常生活で使った大量の土器類等です。そのうえで土器の年代をみますと、最も古いのは追戸A地区横穴墓のものに七世紀初頭の土器がありますが、多いのは七世紀後半以降から八・九世紀の土器です。

追戸・中野横穴墓群の造られた年代

なお、A地区三号墳の土器には、関東北部の土器特有の外面に同心円叩き目文があるので関東北部の人々とのつながりが考えられます。B地区横穴墓の土器の中には、八世紀初頭から生産がはじまった小里長根窯の製品がふくまれています。これらのことから考えますと奈良時代から平安時代の初期にかけて横穴墓群はさかんに造られたといえます。

コラム

■中野横穴墓群 C地区1号墳出土の須恵器 左は湖西産の壺



■追戸横穴墓群 B地区11号墳出土の須恵器



■追戸横穴墓群 A地区1号墳出土の玉類 上 左からヒスイ製勾玉、メノウ製勾玉、トンボ玉 下 水晶製切子玉



トンボ玉(径約2cm) 透明で紺色の地玉に紺と白の色で同心円文様をモザイク技法によって配っています。西アジア産との見解がある貴重品です。

(天平ろまん館に展示してあります。)

【ぶらり歴史ロマン.5】

国史跡・長根貝塚

豊かな大地に根ざした縄文の「ムラ」

現在より約一万年ほど前、氷河期と呼ばれる気温の寒い時代が終わり、温暖化が進み、海岸線が涌谷付近の低地部にまで及びました。この頃から人々は、生活の中で土器を用いるようになり、各地に集落や貝塚を築きました。現在の宮城県には、三〇〇以上の貝塚が残されており、涌谷の丘陵縁辺にも、三〇〇以上の遺跡が点在しています。



現在の長根貝塚

国史跡・長根貝塚

涌谷町長根地区に位置する国史跡「長根貝塚」は、昭和四十三年に開田工事に伴う発掘調査の結果、遺跡全体の面積が東西三〇〇m×南北二五〇mにおよび、周囲の斜面には貝層が大きく馬蹄形に分布する、県内陸部でも最大級の貝塚であることが判りました。

また、縄文時代早期末～晩期頃約六〇〇〇～二三〇〇〇年位前までの長期間にわたって集落が営まれており、周辺の集落の拠点的活動の場となっていたと考えられています。



出土した土器(縄文時代中頃)

貝層の分布(黄色の範囲)



長根貝塚のようす



横穴墓に埋葬されたのは、どういった人々だったのでしょうか。例えばA地区一・二号墳のような堂々たる規模をもつ横穴墓や異国情緒たつぷりのトンボ玉といった副葬品から考えますと、一般の人々とはみられません。おそらく陸奥国府とつながりのあ

追戸・中野横穴墓群に葬られた人々

る有力者でしょう。具体的には、小田郡の郡役所関係者や小田軍団の関係者、さらには天平年間を中心に黄金山(麓岳丘陵)で展開された大々的な産金経営の関係者等々を対象として検討すべきでしょう。

貝塚が物語る「ムラ」の暮らし

貝層の大部分は、前期末から中期初めに属するとみられ、主としてヤマトシジミで構成されています。この他に、縄文時代早期のカキ、ハマグリ、アカニシ、オキシジミ、ガイなどの鹹水産貝層と後晩期のタニシなど淡水産貝層が分布しています。それは長い「ムラ」の営みの中で、当地域周辺が海水域から淡水域へと変化したことを物語つ

ており、それに伴って人々の生活も変化したことを裏付ける貴重な結果となりました。また、貝層が分布する内側では、縄文時代中期の竪穴住居跡が完全な形で二棟見つかかり、宮城県内で初めて縄文人たちの「イエ」の復元が可能となりました。昭和四十五年三月九日、国史跡の指定を受けています。

わくや天平の湯

館内には、温泉の他に
小劇場・交流室・貸切風呂等
があります。

お年寄りや、車椅子の方にも
利用しやすい施設となっています。

あなたの好きな場所で、
くつろぎのひとときを
ゆっくりとお過ごしください。



天平の湯の泉質



大浴場

【一ノ源泉】
無色透明、無味無臭にして
アルカリ性である
【二ノ源泉】
ナトリウム塩化物・硫酸塩
泉無色透明にして食塩味を
有し、弱アルカリ性である
【特徴】
身体に吸収しやすいアルカ
リ成分が肌の保湿効果を維
持し、湯冷めにくい
【適応性】
神経痛・筋肉痛・関節痛・
五十肩・関節のこわばり・
うちみ・冷え性など

美肌効果のある二つの源泉と
二種類のスパが楽しめる

わくや天平の湯では、話題の
温泉ソムリエの間で「美人・美
肌泉質」として取り上げられ、女
性に注目されている四つの泉質
のうち、二つの泉質が湧き出て
います。

また、趣の異なる和風と洋風
の大浴場は男女日替わりで和風
大浴場にはヒノキ風呂や庭園が
ついた露天風呂、サウナ等があ
り、洋風大浴場には打たせ湯、
寝湯、季節風呂、サウナも完備
され、さまざまな風呂でのんび
り湯浴みが楽しめます。
シャンプーとボディソープが
浴室内に、ドライヤーが脱衣所
に備え付けてあります



和風浴場 檜風呂



ドライサウナ



休憩コーナー (1F)

〈その他の浴場〉
◆洋風浴場
・寝湯
・うたせ湯
・屋外ジャグジー
◆和風浴場
・ヒノキ風呂
・露天風呂
◆家族風呂 (要予約)

〈その他の施設〉
◆交流室

9部屋のほか研修室あり、ご家族・ご友人での
会合にもご利用いただけます。

日帰り温泉 わくや天平の湯

〒987-0100 宮城県遠田郡涌谷町涌谷字中江南222 TEL0229-43-6330
営業時間/10時~21時
休館日/毎週水曜日
(祝日と重なった場合は翌日休業いたします)
アクセス/電車の方は、JR石巻線涌谷駅からタクシーで約5分、
車の方は国道346号をご利用下さい。

〈利用料金〉

| | 区分 | 終日 |
|--------|-----------------------------|--------------|
| 入館料金 | 大人(高校生以上) | 660円 |
| | 子ども(小学生以上) | 330円 |
| | シニア(65歳以上) | 550円(証明書要提示) |
| | 障がい者付添助者 | 550円(証明書要提示) |
| レンタル料金 | 浴衣セット (サムエ・洗顔タオル(バスタオル)) | 300円 |
| | タオルセット (洗顔タオル(バスタオル)) | 100円 |
| 貸室料金 | 交流室(和室) 6畳 | 500円/時間 |
| | 12畳 | 800円/時間 |

※改定により料金に変更になる場合があります

涌谷からの「おもてなし」



焼きまんじゅう 涌谷太鼓

もち米の王様と言われる「みやこがね餅米」ですんだあんを大福のように包み、表面を軽く焼き上げた焼きまんじゅう。焼き風味の香ばしさとずんだあんがとても美味しく口にひろがります。

株式会社 菅野食品
☎0229-43-5555
[MAP]P8-4



唐辛子

各地各所の厳選した原料を独自の製造工程で調合した唐辛子を販売しており、辛さの調節やオリジナルのパッケージの作成も可能です。七味や一味をはじめ、鰹節をベースとした武士唐辛子は特に好評です。ぜひご賞味ください。

一般社団法人 ALC
☎0229-25-4415
[MAP]P10-13



奥州涌谷かりんとう

上質の小麦粉にゴマを混ぜ、サラダ油で揚げて上品な三温糖で混ぜ込んだとても美味しいかりんとう。お子様からお年寄りまで、食べ出したらやめられないおいしさです。

村上菓子舗
☎0229-43-2986
[MAP]P9-6



味噌・醤油

明治42年創業。社長はH27年度「現代の名工」に選ばれています。日本の気候風土が生んだソルフード、味噌・醤油。「うまいといわれる商品づくり」をモットーに、ここ涌谷から発信します。

川敬醸造株式会社
☎0229-42-2073
[MAP]P9-7



金のいぶき

涌谷町産ブランド米として生産に力を入れている玄米食専用米「金のいぶき」。一般の玄米より胚芽が大きく、プチットとはじける独特の食感と玄米でありながら、もっちりとした炊き上がりで冷めてもおいしく、白米同様に炊飯できます。噛むほどに甘みが増し、あと引くような旨みを感じられます。ぜひご賞味ください。

新みやぎ農業協同組合
みどりの地区本部マーケティング室
☎0229-87-3344



奥州涌谷の郷土料理 おぼろ豆腐・おぼろ汁

軟らかく滑らかな食感の「おぼろ豆腐」は、江戸時代末期に関西から来たお坊さんが、お寺のわらじぬぎ場になっていた豆腐屋へ作り方、食べ方を伝授し、それが地域に広まったと伝えられています。シイタケや油あげと一緒に煮る「おぼろ汁」は、涌谷の郷土料理として昔から親しまれています。おぼろ汁は令和5年度に文化庁の100年フードに認定されました。

おぼろ豆腐販売店/涌谷とうふ店・町内スーパー
おぼろ汁提供店/喜代松茶屋・だての里(要予約)・涌谷キッチン



わくやさま

純良なフレッシュバターと練り上げた白あんにくるみの風味を添え栄養極めて高く、和洋の渾然とした独特の風味は郷土の御土産としてまた御贈答品として好評です。

木村屋
☎0229-43-2162
[MAP]P9-1



カスタードケーキ

ふわふわのスポンジの中に生クリームとカスタードクリームを合わせたクリームがいっぱい入っています。子供からお年寄りまで愛されている、カスタードケーキです。

メモリー洋菓子店
☎0229-43-5770
[MAP]P9-2



涌谷竜文塗

古来秘法墨流しの流動美から色彩と文様の調和を表した竜文塗が生まれました。竜文塗に色彩の改良を加えて「涌谷竜文塗」が誕生しました。

三塚漆器店
☎0229-42-2531
[MAP]P9-13



金色野菜ブランド

日本で初めて金が採れた町として、涌谷町で採れた黄色の野菜は、全て「金色野菜」として発信していこうという取り組みをわくや産直センター「黄金の郷」をはじめ、町内生産者と連携してブランド化を進めています。

一部予約が必要なものもありますが、1年を通して旬の様々な金色野菜が収穫され、わくや産直センター等で取り扱っています。毎日の食卓に金色に輝く野菜をぜひ取り入れてみてください。

一般社団法人 AuBless (アウブレス)
☎0229-87-5406



涌谷町
観光ガイド

宮城県涌谷町 産業振興課

〒987-0192 遠田郡涌谷町字新町裏153-2
TEL (0229) 43-2119 FAX (0229) 42-3313
URL: <http://www.town.wakuya.miyagi.jp/>
E-mail: gr-shoukou@town.wakuya.miyagi.jp

